世界的すきま発想。
日本化薬

令和 7 年 2 月 12 日

お客様各位

日本化薬株式会社
アグロ事業部

「ファインセーブ®フロアブル」登録内容変更のお知らせ

拝啓

時下ますます御清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、このたび、ご愛顧いただいております殺虫剤「ファインセーブ®フロアブル」（登録番号第 24070 号）が令和 7 年 2 月 10 日付で登録内容変更（適用作物及び注意事項の追加）となりましたので、お知らせいたします。変更後も引き続き、「ファインセーブ®フロアブル」をご愛顧いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名
第 24070 号	ファインセーブフロアブル	フロメトキン水和剤

ファインセーブは日本化薬㈱の登録商標

■変更内容

以下のとおり「作物名」等の追加変更、及び「農薬使用上の注意事項」が変更になりました。変更後の内容につきましては、別紙をご参照ください。

（1）作物名「もも」(アザミウマ類) を追加する。
（2）作物名「ぶどう」(アザミウマ類、ブドウサビダニ) を追加する。
（3）作物名「未成熟そらまめ」(アザミウマ類) を追加する。
（4）作物名「レタス」(アザミウマ類) を追加する。
（5）作物名「非結球あぶらな科葉菜類」(コナガ) を追加する。
（6）作物名「さやいんげん」(アザミウマ類) を追加する。
（7）作物名「茶」の使用時期を「摘採 7 日前まで」に変更する。

■本剤に関するお問い合わせ先

〒100-0005　東京都千代田区丸の内 2-1-1
日本化薬㈱　アグロ事業部 営業部 マーケティング担当
電話：03-6731-5321　　FAX：050-3730-0682

別紙

変更後の適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フロメトキンを含む農薬の総使用回数
かんきつ	—	アザミウマ類 ミカンサビダニ チャノホコリダニ	2000～4000倍	200～700ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
もも、マンゴー		アザミウマ類	2000倍		収穫前日まで			
ぶどう		アザミウマ類 ブドウサビダニ						
なす		タバココナジラミ類※	1000倍	100～300ℓ/10a		3回以内		3回以内
		アザミウマ類	1000～2000倍					
	温室、ガラス室、ビニールハウス等の密閉できる場所		67倍	10ℓ/10a			常温煙霧	
しょくようほおずき 未成熟そらまめ さやいんげん しそ（花穂） バジル にんにく	—		2000倍	100～300ℓ/10a		2回以内	散布	2回以内
トマト ミニトマト		アザミウマ類 タバココナジラミ類※	1000～2000倍			3回以内		3回以内
		トマトサビダニ	1000～4000倍					
ししとう ピーマン		タバココナジラミ類※	1000倍					
		アザミウマ類	1000～2000倍					
すいか いちご								
非結球あぶらな科葉菜類		コナガ	2000倍		収穫７日前まで	2回以内		2回以内
はくさい		アオムシ	1000倍		収穫7日前まで			
		コナガ	1000～2000倍					
キャベツ		コナガ アザミウマ類			収穫3日前まで			
		アオムシ	1000倍					
レタス		アザミウマ類						
きく（葉） にら、食用ぎく			2000倍					
しそ					収穫前日まで	3回以内		3回以内
みょうが（花穂）			1000倍				散布、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する。	
	温室、ガラス室、ビニールハウス等の密閉できる場所		33倍	10ℓ/10a			常温煙霧、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により煙霧が直接花穂に飛散しない状態で使用する。	

※シルバーリーフコナジラミを含む

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-1-1
日本化薬株式会社

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用場所</th><th>適用病害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の使用回数</th><th>使用方法</th><th>フロメトキンを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">みょうが(茎葉)</td><td>―</td><td rowspan="2">アザミウマ類</td><td>1000倍</td><td>100～300ℓ/10a</td><td rowspan="2">みょうが(花穂)の収穫前日まで
但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで</td><td rowspan="2">3回以内</td><td>散布</td><td rowspan="2">3回以内</td></tr>
<tr><td>温室、ガラス室、ビニールハウス等の密閉できる場所</td><td>33倍</td><td>10ℓ/10a</td><td>常温煙霧</td></tr>
<tr><td>ブロッコリー
カリフラワー</td><td rowspan="12">―</td><td>アオムシ
アザミウマ類</td><td>1000倍</td><td rowspan="6">100～300ℓ/10a</td><td>収穫3日前まで</td><td rowspan="5">2回以内</td><td rowspan="12">散布</td><td rowspan="5">2回以内</td></tr>
<tr><td>だいこん</td><td rowspan="2">コナガ</td><td rowspan="2">1000～2000倍</td><td>収穫14日前まで</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ねぎ</td><td>アザミウマ類</td><td>収穫3日前まで</td></tr>
<tr><td>ネギハモグリバエ</td><td rowspan="2">2000倍</td></tr>
<tr><td>わけぎ
あさつき</td><td>アザミウマ類
ネギハモグリバエ</td><td>収穫前日まで</td></tr>
<tr><td>たまねぎ</td><td rowspan="3">アザミウマ類</td><td>1000～2000倍</td><td>収穫3日前まで</td><td>3回以内</td><td>3回以内</td></tr>
<tr><td>ほうれんそう</td><td rowspan="2">2000倍</td><td>収穫14日前まで</td><td rowspan="6">2回以内</td><td rowspan="6">2回以内</td></tr>
<tr><td>アスパラガス</td><td>アザミウマ類
タバココナジラミ類※</td><td>100～800ℓ/10a</td><td>収穫前日まで</td></tr>
<tr><td rowspan="2">茶</td><td>チャノホソガ</td><td>2000倍～4000倍</td><td rowspan="2">200～400ℓ/10a</td><td rowspan="2">摘採7日前まで</td></tr>
<tr><td>チャノキイロアザミウマ</td><td>1000倍～4000倍</td></tr>
<tr><td>きく、ほおずき</td><td rowspan="2">アザミウマ類</td><td>2000倍</td><td rowspan="2">100～300ℓ/10a</td><td rowspan="2">発生初期</td></tr>
<tr><td>グロリオサ
ダリア
ラナンキュラス</td><td>1000倍</td></tr>
</table>

※シルバーリーフコナジラミを含む

変更後の農薬の使用上の注意事項

（１）使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
（２）使用直前に、容器をよく振ること。
（３）本剤は植物体への浸透移行性がないので、かけむらのないように葉の表裏に十分散布すること。
（４）みずかけな（水掛菜）に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用すること。また、使用後１４日間は入水しないこと。
（５）蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
（６）ハウスなどの常温煙霧用として使用する場合は下記の注意を守ること。
　１）専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧すること。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当たっては、病害虫防除所等関係機関の指導を受けること。
　２）煙霧が直接収穫物に当たると汚れが生じるおそれがあるので、施設上部に噴頭部を設置するなど、煙霧が収穫物に直接当たらないようにすること。
　３）作業はできるだけ夕刻に行い、作業終了後６時間以上密閉すること。できれば翌朝までとすること。
（７）適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-1-1
日本化薬株式会社